

「NTT 東日本札幌病院に通院中または通院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ」(臨床研究に関する情報)

1. 研究名称 少人数呼吸器外科チームにおける最適なアプローチ選択

2. 研究機関：NTT 東日本札幌病院

研究責任医師 道免 寛充

研究分担者 山田 秀久

市之川 一臣

3. 目的と意義

呼吸器外科手術はここ数年で世界的に劇的な変化をみせており、日本は世界最先端の国々からはあきらかに遅れをとっているものの、猛追の兆しがみられるようになってきた。この変化に遅れることなく、自らが最先端になることを目指すべきである。

当科は常勤の呼吸器外科医が一名で全手術の術者を行い、助手は他院の呼吸器外科医や当院の消化器外科医、初期研修医等が行う。当科では従来は多孔式胸腔鏡手術(以下 M-VATS)を行ってきたが現在では M-VATS で手術を開始することはなく、世界最先端の術式である単孔式 VATS (以下 U-VATS) かロボット支援手術(以下 RATS)を行っている。このような少人数呼吸器外科チームにおける最適なアプローチ選択を探るのが今回の研究の目的である。

4. 研究の方法と意義

2018 年 10 月 1 日から 2021 年 8 月 31 日の間に当院で手術を行った RATS 連続 113 例と U-VATS 連続 149 例について各種データ(年齢、性別、既往歴ないしへ依存症、アプローチ法、手術時間、術中出血量、胸腔ドレーン抜去日、退院日、術後合併症、等)を集計し統計学的処理を行う。

当院のような環境が行うことのできる最善の治療を探りあてることができる可能性がある。また、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性がある。

5. 研究対象者の選定方針

2018 年 10 月 1 日から 2021 年 8 月 31 日の間に当院で手術を行った RATS113 例と U-VATS149 例。

6. 研究の合理的根拠

治療結果の解析

7. インフォームド・コンセントを受ける手続き

2018年10月から2021年8月までの期間にNTT東日本札幌病院外科において呼吸器外科手術を受けた患者さんの中で、この研究に診療情報を提供したくない方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

8. 経済的負担について

なお、この研究を行うことで患者さんに費用などの負担は生じません。

9. 個人情報の取り扱い

お名前、住所等、患者さんを直接特定できる情報は収集しておりません。また、本調査結果として公表する内容は、集計結果に基づくものであり、医療機関名、医師名、患者さんを特定する個人情報（生年月日、イニシャル等）は含みません。

上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

担当医師：NTT東日本札幌病院 外科 道免 寛充
060-0061 北海道札幌市中央区南1条西15丁目
電話 011-623-7000（代表）